

StarLink Edge テーブルマイク ユーザーマニュアル



ワイヤレスLEオーディオ対応補聴器用
アクセサリー

新しいStarLink Edgeリモートマイクについて

リモートマイクをお使いいただくことで、会話を楽しみ、あなたの周りの世界とつながることができます。

はじめに、このマニュアルをお読みください。

目次

1. お使いのリモートマイクについて知る

リモートマイク各部の紹介.....	3
リモートマイクのしくみ.....	4
リモートマイクをセットアップする.....	4
リモートマイクを使う.....	8
リモートマイクを装着する.....	11
リモートマイクを充電する.....	12

2. トラブルシューティングガイド..... 22

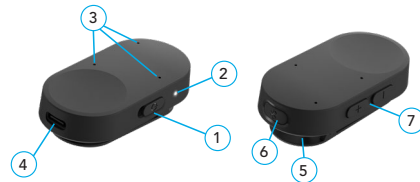
3. 追加のガイダンス

使用目的.....	17
FCC情報.....	3
規制情報.....	4

リモートマイク各部の紹介

概要

1. 電源スイッチリモートマイクの**オン/オフ**を切り替えます。
2. **インジケータライト**
リモートマイクの現在の動作状況がわかります。
3. **マイクロフォン**
話者の声を拾い、ユーザーが聞けるようにします。
4. **電力供給ジャック (USB-C)**
電源アダプター用。
5. **クリップ**
話者の衣服にリモートマイクを固定します。
6. **ペアリングボタン**
リモートマイクをお使いの補聴器にペアリングします。
7. **音量コントロール/メモリボタン**
音量または補聴器のメモリを調節します。



リモートマイクのしくみ

本リモートマイクは、音声を強化し、他の人との会話を楽しめるように設計されています。

リモートマイクをテレビの近くに置いて、音声を聞きやすくすることもできます。最良の結果を得るには、TVストリーマーを使用してください。詳しくは、聴覚医療専門家にお問い合わせください。



補聴器とペアリングする：

テーブルマイクを初めてご利用になる前に、お使いになる補聴器とペアリングする必要があります。こうすることで、付属品はお使いの補聴器を認識し、連動するようになります。

リモートマイクをセットアップする

電源オン/オフ

以下のように電源スイッチを使用し、リモートマイクの**オン**と**オフ**を切り替えます。

- **電源をオンにする：**LEDの方向に向かって、スイッチをスライドさせます。LEDが2秒、白く点灯します。
- **電源をオフにする：**LEDの反対方向に、スイッチをスライドさせます。LEDが2秒、赤く点灯します。スイッチの隣にオレンジ色が表示されます。



補聴器をペアリングする

リモートマイクを初めてご利用になる前に、お使いになる補聴器とペアリングする必要があります。こうすることで、アクセサリはお使いの補聴器を認識し、連動するようになります。

手順1：リモートマイクをオンにする。

手順2：補聴器をオフにしてオンにする。

- 充電式補聴器をお使いの場合は、充電器に3秒間置いて、それから取り出します。補聴器にバッテリーがついている場合は、バッテリードアを開け閉めしてください。
- **CROS補聴器システムの場合：**
補聴器とCROストランスミッターをオフにします。
次に、補聴器を**オン**にしますが、CROストランスミッターは**オフ**のままにします。

手順3：リモートマイクと補聴器をペアリングする：

1. 補聴器が、近くにある他のBluetooth® デバイスに接続されていないことを確認します。
 - 携帯電話のBluetoothを**オフ**にします。
 - お使いの補聴器にペアリングされているワイヤレスアクセサリが他にあれば、それを**オフ**にします。
2. リモートマイクから6インチ (15 cm) の範囲内に、補聴器を配置します。できるだけ近くに置きます。

3. ペアリングボタンを2秒間押したままにすると、LEDライトが緑色に点滅します。1分以内に、補聴器のペアリングが完了すると、LEDが2秒間緑色に点灯します。*



これで完了です。次のページに進んで、リモートマイクの使用を開始してください。

リモートマイクを使う

手順1：補聴器の電源がオンになっていることを確認する。

手順2：

- **リモートマイクをオンにする。**
自動的に補聴器でオーディオストリーミングが開始されます。
- **ストリーミングは、優先度の高いストリーミング**（通話、電話からのメディアストリームなど）があると一時停止されます。

手順3：リモートマイクをオフにする。オーディオストリーミングは、リモートマイクの電源がオフになると停止します。

*緑色のライトが2秒間点灯しない場合は、手順1～3を繰り返してください。

手順4：ストリーミングの音量を調整する。

以下のいずれかを行ってください。

- リモートマイクの横側にある音量コントロールボタンの上か下を押す。
- **補聴器ユーザーコントロール**を押下（またはタップ）。*
- 互換性のあるモバイルアプリのアクセサリ画面で調節する。

手順5：補聴器のメモリを変更する。

音量調節ボタンを長押し（2秒間）すると、お使いの補聴器にプログラムされたメモリが切り替わります。

手順6：リモートマイクをリモートコントロールで使用する。

リモートマイクが電源オンのとき、またはパワーダウンしている（ストリーミングしていない）場合、

- 補聴器の音量を、[+/-]ボタンを短押しして変更できます。
- 補聴器のプログラムを、[+/-]ボタンを長押しして変更できます。

注：補聴器の可聴式インジケーターが作動し、リモートマイクのバッテリー残量が少なくなっていることを警告します。

*この機能を使ってリモートマイクを操作するには、聴覚医療専門家による設定が必要です。

インジケータライト

インジケータライトで、リモートマイクの現在の動作状況がわかります。

インジケータライトのステータス	動作ステータス
赤色で2秒点灯	充電コードから切断されました
白色で2秒点灯	オンになりました
白色でゆっくり点滅	電源オン、ストリーミングなし
緑色点滅から緑色常時点灯へ	既存の接続にペアリング
緑色点滅から赤色常時点灯へ	ペアリングに失敗しました
赤色で2秒常時点灯	30分間HAへの接続がありません。リモートマイクがスリープモードに入ります (何かボタンを押すとウェイクアップします)
白色LED	ボタンが押されたとき
白色でゆっくり2回点滅	ストリーミング中
赤色でゆっくり点滅	バッテリー残量低下
可聴式インジケータ	HAのバッテリーが低下 (3トーン)
赤色で2秒点灯	電源がオフになりました (コントロール経由またはバッテリー低下)

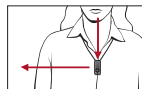
注: 通常のワイヤレス稼働範囲は、最大50フィート (15m) です。この距離は、環境的要因 (障害物、干渉、人の位置など) によって短くなる場合があります。これより離れていても可能なこともあります。音声や接続の品質が低下する可能性があります。

リモートマイクを装着する

リモートマイクは、話をする人の衣服に装着することができます。口元から8インチ (20 cm) 以内の位置が推奨されます。

衣服への装着に関する指示:

1. リモートマイクのクリップを握って開きます。
2. クリップの開いた部分に衣服を挟んで取り付けます。
3. クリップから手を離します。
4. リモートマイクが衣服にしっかりと固定されたことを確認します。



リモートマイクを充電する

ストリーミング中にバッテリー残量が低下したら、リモートマイクのインジケータライトが赤くゆっくりと点滅し、音で知らせます。バッテリーが完全に放電されていると、リモートマイクの電源をオンにしたとき白いインジケータライトが点灯しません。

1. 充電ケーブルのUSB-C端子をリモートマイクのUSB-Cジャックに差し込みます。



2. ケーブルのUSB-C端子を電源アダプターに差し込みます。
3. 電源アダプターを、壁のコンセントなどの外部電源に差し込みます。
4. リモートマイクのインジケータライトを使用して、充電ステータスを確認します。
 - 充電中は白色のLEDが点灯します。
 - フル充電されている場合は、LEDが点灯しません。
 - リモートマイクは、約3時間でフル充電されます。
 - リモートマイクは、充電が必要となるまでおよそ10時間稼働しますが、これは音量やノイズレベルで異なります。

リマインダ - リモートマイクの充電中にオーディオストリーミングをすると、充電に時間がかかる場合があります。リモートマイクをオフにすると、充電は通常より速くなります。

トラブルシューティングガイド

リモートマイクに問題がありますか？これらのヒントを試してみてください。問題が続く場合は、聴覚医療専門家に連絡して確認してください。

症状	考えられる原因	対処法
片方(または両方)の補聴器で突然音声ストリーミングが停止する。	補聴器がワイヤレス圏外からぼ外れている可能性があります。	リモートマイクにもっと近づく。
	お使いの補聴器のバッテリー残量では、オーディオストリーミングをサポートできなくなった。	補聴器のバッテリーを新しいものを交換する。 または 補聴器を充電する。
片方(または両方)の補聴器で突然音声ストリーミングが停止する。	リモートマイクへのワイヤレス接続が途切れる。	オーディオストリーミングを再起動する。リモートマイクの電源をいったんオフにしてから、オンにする。
ストリーミング音声の音質が歪む。	リモートマイクのバッテリー残量低下。	リモートマイクを充電する。 9ページのリモートマイクを充電するを参照してください。

症状	考えられる原因	対処法
騒がしい環境で話している他の人の声が聴きづらい。	リモートマイクの位置が、話をしている人から遠すぎる可能性があります。	話している人の口元にリモートマイクを近づける。
	リモートマイクが衣服で隠れている可能性や、正しく配置されていない可能性があります。	- 必要な場合は、リモートマイクを表に出す。 - 話している人の口元の近くにリモートマイクを配置する。
インジケータライトが白色でダブルブリンクしているが、補聴器に音声がストリーミングされない。	補聴器は、ストリーミングされた音声を受信する準備ができていない。	補聴器の電源をいったんオフにしてから、またオンにする。

使用目的

本リモートマイクは、2.4 GHzワイヤレス式空気伝導型補聴器のアクセサリです。音源からのサウンドを空気伝導型補聴器にワイヤレス転送することを目的としています。騒がしい環境において離れたところで話している人が装着した場合は、聴覚補助装置として機能します。

リモートマイクは、最も厳しい国際EMC規格に準拠して設計されています。それでも、電力線の障害、空港の金属探知機、他の医療機器からの電磁場、無線信号、静電放電による干渉を受ける可能性があります。

リモートマイクは、石鹸水で湿らせた布で拭いてクリーニングするように設計されています。

他の医療機器を使用していたり、除細動器やペースメーカーなどの植え込み型医療機器を装着したりしており、その医療機器とリモートマイクとの干渉が起こる心配がある場合は、干渉リスクに関する情報について担当医師またはその医療機器の製造業者に連絡してください。リモートマイクは、MRI処置中、または高圧室で使用しないでください。リモートマイクは、石灰鉱や特定の化学工場など、爆発性雰囲気の中での使用が正式に認証されていません。

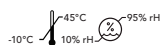
航空機での使用

フライト乗務員に特別に許可されない限り、本リモートマイクを航空機内で使用しないでください。

国際使用

本リモートマイクは、お住まいの国または地域固有の無線周波数で動作することが承認されており、お住まいの国または地域以外での使用が承認されていない場合があります。

海外旅行中の操作は、他の電子機器への干渉の原因となったり、他の電子機器がお使いのリモートマイクと干渉を起こしたりする場合があることに注意してください。



本リモートマイクは、温度が -10°C (14°F) $\sim 45^{\circ}\text{C}$ (113°F)、相対湿度が10% $\sim$ 95%、高度が70 kPa $\sim$ 106 kPa (海拔1,200フィート (380 m) から10,000フィート (3,000 m) の高度に相当) の範囲で稼働、保管および輸送してください。

充電は、 0°C (32°F) $\sim 40^{\circ}\text{C}$ (104°F) の温度範囲で行ってください。

臨床的有益性

本アクセサリ自体は、臨床的利益を直接提供するものではありません。親デバイス (ワイヤレス補聴器) が使用目的を達成するようにすることで、間接的な臨床的利益が提供されます。

規制により、次の警告の提供が義務付けられています。

警告: リモートマイクを他の電子機器のすぐ隣で使用すると、性能が低下する可能性があるため、避けてください。電子機器の近くでの使用が必要な場合は、補聴器と他の機器が正常に動作しているかどうかを確認してください。

警告: お使いのリモートマイクの製造業者が提供するもの以外のアクセサリ、コンポーネント、または交換部品を使用すると、電磁エミッションが増加し、電磁気耐性が低下し、性能が低下する可能性があります。

警告: 携帯型無線通信機器をリモートマイクから30 cm (12インチ) 以上離して使用すると、補聴器の性能が低下する可能性があります。このような場合は、通信機器から離してください。

リモートマイクは、IEC 60529に基づくほこりや水の侵入保護について正式に認証 (IP規格) されていませんが、IP 5Xレベルのテストを実施済みです。つまり、本リモートマイクはほこりから保護されています。

リモートマイクのバッテリーは、交換できません。バッテリーの交換を試みないでください。本リモートマイクには、ユーザーによる保守が可能な部品は含まれていません。開いたり、変更したりしないでください。

リモートマイクで使用するUSB ACアダプターは、Nationally Recognized Testing Laboratory (北米の場合) または適切な国家電気安全基準 (その他の国の場合) による安全性承認を受けたものでなければなりません。

リモートマイクを、このマニュアルに記載されていないデバイスに接続しないでください。

本リモートマイクの予想耐用年数は3年です。

ワイヤレスの技術的情報

本リモートマイクは、2.4~2.4835 GHz帯、最大有効放射電力8 dBm、トランスミッション変調方式GFSK、帯域幅2 MHzで稼働します。無線のレーシーバー部分の帯域幅は2 MHzです。

本リモートマイクは、以下のエミッション試験および耐性試験を受け、合格しています。

- IEC 60601-1-2放射エミッションおよび伝導エミッション要件 (CISPR 11記載のグループ1クラスB装置向け)
- IEC 60601-1-2の表2に記載された入力電源に影響を与える高調波歪みと電圧変動
- 80 MHz~2.7 GHzにおける電界レベル10 V/mでのRF放射耐性、およびIEC 60601-1-2の表9に記載される通信機器からのより高い電界レベルでのRF放射耐性
- 電界レベル30 A/mの電力周波数磁場に対する耐性およびIEC 60601-1-2の表11に記載される近接磁場に対する耐性
- ESDレベル+/- 8 kVの放電および+/- 15 kVの空中放電に対する耐性
- 100 Hzの反復レートで+/- 2 kVレベルでの電力投入に関する電気的高速過渡に対する耐性

- ライン間+/- 1 kVの電力投入でのサージに対する耐性
- IEC 60601-1-2の表6に記載された電力投入でRFフィールドによって誘発された伝導型障害に対する耐性
- IEC 60601-1-2の表6に記載された電力投入での電圧ディップと中断に対する耐性

EU有害事象報告

装置に関連して重大な事故が発生した場合は、お近くのスターキー代理店およびお客様が設立された加盟国の所轄官庁に報告してください。重大な事故とは、使用者の死亡または健康状態の重大な悪化につながる可能性がある、または再発時に起こる可能性がある、機能不全、機器の特性および/または性能の劣化、または機器のユーザーマニュアル/ラベルの不備と定義されます。

FCC情報

ワイヤレス通知

FCC ID : EOA-24RME

IC : 6903A-24RME (型式960)

本装置はFCC規則のパート15およびISED Canadaライセンス免除RSS基準 (RSS) に準拠しています。操作は以下の2つの条件に従います。(1) 本装置は有害な干渉を引き起こさないこと、および (2) 本装置は、本装置の望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したすべての干渉を受け入れる必要があります。

注: 製造業者は、本装置の不正な改変によって生じた無線またはテレビ干渉に対して責任を負いません。そのような改変を行うと、使用者の機器操作権限が無効になる場合があります。

Starkey Laboratories, Inc.はここに、本リモートマイクが指令2014/53/EUの基本必須条件およびその他の該当条件に準拠していることを宣言します。適合宣言書のコピーは、次のアドレスおよびdocs.starkeyhearingtechnologies.comから取得できます。

Starkey Laboratories, Inc.はここに、本リモートマイクが英国無線機器規制SI 2017 (およびその修正版) に準拠していることを宣言します。英国の適合宣言書のコピーは、次のアドレスおよびdocs.starkeyhearingtechnologies.comから取得できます。

規制情報

サービスまたは修理については、まず聴覚医療専門家にお問い合わせください。
必要に応じて、補聴器を下記に送付できます。



Starkey Laboratories, Inc.
6700 Washington Ave. South
Eden Prairie, MN 55344 USA
www.starkey.com



Starkey Laboratories (Germany) GmbH
Weg beim Jäger 218-222
22335 Hamburg
Germany

英国の認定販売者：
Starkey UK
William F. Austin House
Pepper Rd, Hazel Grove
Stockport SK7 5BX, UK
www.starkey.co.uk



電子機器からの廃棄物は、地域の規制に従って
処理する必要があります。



ユーザーマニュアルを参照のこと



濡らさないこと

古い電子機器の廃棄方法

Starkey Laboratories, Inc.は、本リモートマイクをお住まいの地域の電子機器リサイクル/廃棄処理を通じて廃棄することを推奨します。EUでは、このような廃棄が義務付けられており、ユーザーの地域の法律でも同様に義務付けられている可能性があります。

以下の指示は、廃棄/リサイクル担当者向けに記載しています。
本リモートマイクを廃棄するときは、このマニュアルを添付してください。

廃棄/リサイクル担当者専用

この製品には、ポリマー型リチウムイオン電池が含まれています。

この電池の取り外し方法：

- リモートマイクの電源をオフにします。
- 小型のドライバーで、ハウジングの片方をこじ開けます。
- 偶発的ショートを防ぐため、回路基板からバッテリーワイヤーを切り離します。
- 先端が広く平らなブレードを使って、ハウジングからバッテリーを取り外します。

そのような改造を行うと、使用者の機器操作権限が無効になる場合があります。

記号	記号の意味	適用規格	記号番号
	製造者	BS EN ISO 15223-1:2021	5.1.1
	欧州共同体 認定代理店	BS EN ISO 15223-1:2021	5.1.2
	製造日	BS EN ISO 15223-1:2021	5.1.3
	カタログ番号	BS EN ISO 15223-1:2021	5.1.6
	シリアル番号	BS EN ISO 15223-1:2021	5.1.7
	医療機器	BS EN ISO 15223-1:2021	5.7.7
	濡らさないこと	BS EN ISO 15223-1:2021	5.3.4
	温度制限	BS EN ISO 15223-1:2021	5.3.7
	湿度制限	BS EN ISO 15223-1:2021	5.3.8
	注意	BS EN ISO 15223-1:2021	5.4.4
	一般的な警告サイン	EC 60601-1、参照番号 表D.2、安全標識2	ISO 7010-W001
	取扱説明書/冊子を参照	EC 60601-1、参照番号 表D.2、安全標識10	ISO 7010-M002
	個別に収集	指令 201 2/19/EU (WEEE)	付録IX
	クラスII機器	IEC 60417 参照番号 表D.1	記号9 (IEC 60417- 5172)
	規制コンプライアンス マーク(RCM)	AS/NZS 4417.1:2012	該当なし
	Gitekiマーク	日本の電波法	該当なし
	直流	IEC 60601-1 参照番号 表D.1	IEC 60417-5031
	リサイクル記号	欧州議会・ 理事会指令94/62/EC	付録I-VII

StarLink Edge 원격 마이크 사용자 설명서



StarLinkおよびStarkeyは、Starkey Laboratories, Inc.の商標です。

©2025 Starkey Laboratories, Inc. 無断複写・転載を禁じます。P00009895 1/25 BKLT3245-00-JP-KO-ZH-XX
特許 : www.starkey.com/patents



부속품용:

무선 LE 오디오 지원 보청기

새로운 StarLink Edge 원격 마이크를 구입하신 것을 축하드립니다!

원격 마이크는 음성을 향상시켜 대화를 즐기고 주변 세계와 소통할 수 있도록 도와줍니다.

이 유용한 설명서를 참조하여 시작하십시오.

목차

1. 원격 마이크에 대해 알아보기

원격 마이크 만나기.....	23
원격 마이크가 도움이 되는 방식.....	24
원격 마이크 설정.....	24
원격 마이크 사용.....	25
원격 마이크 착용.....	29
원격 마이크 충전.....	29

2. 문제 해결 가이드..... 31

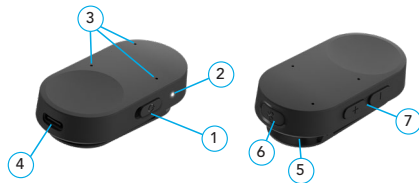
3. 추가 지침

용도.....	33
FCC 정보.....	35
규제 정보.....	36

원격 마이크에 대해 알아보십시오

부분 명칭

- 전원 스위치**
원격 마이크를 켜거나 끕니다.
- 표시등**
원격 마이크가 현재 어떻게 작동하는지 확인합니다.
- 마이크**
말하는 사람의 음성을 들을 수 있도록 음성을 픽업합니다.
- 전원 공급 장치 잭(USB-C)**
전원 어댑터용.
- 클립**
말하는 사람의 옷에 원격 마이크를 부착합니다.
- 페어링 버튼**
원격 마이크를 사용자의 보청기에 페어링합니다.
- 볼륨 컨트롤/메모리 버튼**
볼륨 또는 보청기 메모리를 조정합니다.



원격 마이크가 도움이 되는 방식

원격 마이크는 음성을 향상시키고 다른 사람과의 대화를 즐길 수 있도록 설계되었습니다.

또한 TV 근처에 원격 마이크를 배치하여 소리를 더 잘 들을 수 있습니다. **최상의 결과를 위해서는 TV 스트리머를 사용하십시오. 자세한 사항은 청각 전문가에게 문의하십시오.**

보청기와 페어링하려면:

테이블 마이크를 처음 사용하기 전에, 이를 보청기와 페어링해야 합니다. 이를 통해 액세서리가 함께 작동하도록 보청기를 인식할 수 있습니다.

원격 마이크 설정

전원 켜기/끄기

전원 스위치를 사용하여 원격 마이크를 **켜거나 끕니다.**

- **전원 켜기:** 스위치를 LED 쪽으로 밀니다. LED가 2초 동안 흰색으로 켜집니다.
- **전원 끄기:** 스위치를 LED에서 밀어 뺍니다. LED에 2초 동안 빨간색 불이 들어옵니다. 스위치 옆에 주황색이 표시됩니다.



보청기와 페어링하기

원격 마이크를 처음 사용하기 전에, 이를 보청기와 페어링해야 합니다. 이를 통해 액세서리가 함께 작동하도록 보청기를 인식할 수 있습니다.

1단계: 원격 마이크 켜기

2단계: 보청기를 껐다가 켭니다.

- 보청기를 충전할 수 있는 경우, 3초 동안 충전기에 넣고 뺍니다. 보청기에 배터리가 있는 경우 배터리 도어를 열고 닫습니다.
- **CROS 보청기 시스템의 경우:**
보청기와 CROS 송신기를 끕니다. 그런 다음, 보청기를 켜되 CROS 송신기는 꺼두십시오.

3단계: 원격 마이크를 다음과 같은 보청기와 페어링합니다.

1. 주변 블루투스® 장치에 보청기가 연결되어 있지 않은지 확인합니다.
 - 휴대폰에서 블루투스를 **끕니다.**
 - 이미 이어폰에 연결된 무선 액세서리를 모두 **끕니다.**
2. 원격 마이크에서 15cm(6인치) 이내에 보청기를 놓습니다. 가까울수록 좋습니다.

3. 페어링 버튼을 2초 동안 누르면 LED 표시등이 녹색으로 깜박입니다. 각 보청기별로 페어링이 완료되면 1분 이내에 LED가 2초 동안 녹색으로 켜집니다.*



완료! 다음 페이지로 이동하여 원격 마이크 사용을 시작합니다.

원격 마이크 사용

1단계: 보청기의 전원이 켜져 있는지 확인하십시오.

2단계:

- **원격 마이크 켜기:**
오디오 스트리밍은 자동으로 보청기에서 시작됩니다.
- 전화 통화, 휴대폰의 미디어 스트리밍과 같이 **우선 순위가 높은 스트리밍을 위해 스트리밍이 일시 중지됩니다.**

3단계: 원격 마이크 끄기: 원격 마이크의 전원이 꺼지면 오디오 스트리밍이 중지됩니다.

*녹색 표시등이 2초 동안 켜지지 않으면 1~3단계를 반복합니다.

4단계: 스트리밍 볼륨을 조절합니다.

다음 중 하나를 수행합니다.

- 원격 마이크의 측면에 있는 볼륨 컨트롤 버튼을 위 또는 아래로 누릅니다.
- **보청기 사용자 컨트롤**을 누릅니다(또는 탭합니다).*
- 호환 모바일 앱의 액세스리 화면에서 조정합니다.

5단계: 보청기 메모리를 변경합니다.

볼륨 컨트롤 버튼을 길게 누르면(2초) 전문가가 사용자의 보청기에 프로그래밍한 기억이 순환됩니다.

6단계: 원격 마이크를 리모컨으로 사용합니다.

원격 마이크의 전원이 켜지거나 전원이 꺼지거나/스트리밍되지 않을 때 다음을 수행할 수 있습니다.

- +/- 버튼을 짧게 눌러 보청기 볼륨을 변경합니다.
- +/- 버튼을 길게 눌러 보청기 프로그램을 변경합니다.

참고: 원격 마이크의 배터리 부족을 알리기 위해 신호음이 사용자의 보청기에 재생됩니다.

*이 기능을 사용하여 원격 마이크를 제어하려면 청각 전문가가 설정해야 합니다.

표시등

표시등은 원격 마이크가 현재 어떻게 작동하는지 나타냅니다.

표시등 상태	운영 상태
고정된 빨간색 2초	충전 코드에서 분리됨
고정된 흰색 2초	켜짐
흰색의 느린 깜박임	전원 켜짐, 스트리밍하지 않음
녹색 깜박임에서 고정된 녹색	페어링 중에서 페어링됨
녹색 깜박임에서 고정된 빨간색	페어링 실패
고정된 빨간색 2초	30분 동안 HA에 연결되지 않으면 원격 마이크가 절전 모드로 전환됩니다(버튼을 누르면 절전 모드에서 깨어남).
흰색 LED	버튼을 누를 때
이중 펄스 흰색	스트리밍하는 동안
빨간색 펄스	배터리 부족
신호음	HA에서 배터리 잔량이 적음(3톤)
고정된 빨간색 2초	전원 꺼짐(제어 또는 배터리 부족을 통해)

참고: 일반적인 무선 작동 범위는 최대 15m(50피트)입니다. 이는 환경적 요인(예: 장애물, 간섭, 사람의 위치)에 의해 단축될 수 있습니다. 작동 범위가 넓어질 수 있지만 오디오 또는 연결 품질이 저하될 수 있습니다.

원격 마이크 착용

원격 마이크는 말하는 사람이 옷에 부착할 수 있습니다. 환자의 입에서 20cm(8인치) 이내에 두는 것이 가장 좋습니다.

의류 지침:

1. 원격 마이크의 클립이 열릴 때까지 누릅니다.
2. 클립의 입구를 옷 부분에 밀어 넣습니다.
3. 클립을 놓습니다.
4. 원격 마이크가 옷에 단단히 부착되어 있는지 확인합니다.



원격 마이크 충전

원격 마이크 표시등이 빨간색으로 깜박이고 배터리가 부족할 때 스트리밍하는 동안 신호음이 들립니다. 배터리가 완전히 방전된 경우, 원격 마이크의 전원이 켜지면 흰색 표시등이 켜지지 않습니다.

1. 충전 케이블의 USB-C 끝을 원격 마이크의 USB-C 잭에 연결합니다.
2. 케이블의 USB 끝을 전원 어댑터에 연결합니다.



3. 전원 어댑터를 벽면 콘센트와 같은 외부 전원에 꽂습니다.
4. 원격 마이크의 표시등을 사용하여 충전 상태를 확인합니다.
 - 충전 중 흰색 LED 점등
 - 완전히 충전된 경우 LED 없음
 - 원격 마이크가 약 3시간 내에 완전히 충전됩니다.
 - 원격 마이크는 볼륨 설정 및 소음 수준에 따라 약 10시간 동안 작동하며, 충전이 필요합니다.

알림 – 충전하는 동안 오디오를 스트리밍하는 경우 원격 마이크를 충전하는 데 더 오랜 시간이 걸릴 수 있습니다. 원격 마이크가 꺼져 있을 때 충전이 더 빠릅니다.

문제 해결 가이드

원격 마이크에 문제가 있습니까? 다음 조언을 따르십시오. 문제가 계속되면 청각 전문가에게 문의하십시오.

추정원인	가능한 원인	해결방안
하나(또는 둘 다)의 보청기가 예기치 않게 오디오 스트리밍을 중단합니다.	보청기가 무선 범위를 거의 벗어난 것일 수 있습니다.	원격 마이크에 더 가까이 다가가십시오.
	보청기의 배터리 잔량은 더 이상 오디오 스트리밍을 지원하지 않습니다.	보청기 배터리를 새 것으로 교체하십시오. 또는 보청기를 충전하십시오.
하나(또는 둘 다)의 보청기가 예기치 않게 오디오 스트리밍을 중단합니다.	원격 마이크에 무선 연결이 끊겼습니다.	오디오 스트리밍을 다시 시작합니다. 원격 마이크의 전원을 껐다가 다시 켭니다.
스트리밍된 오디오의 왜곡된 음질.	원격 마이크의 배터리 잔량이 낮습니다.	원격 마이크를 충전하십시오. 9페이지의 <i>원격 마이크 충전</i> 을 참조하십시오.

추정 원인	가능한 원인	해결 방안
시끄러운 환경에서 다른 사람이 말하는 것을 듣는 것이 어려움.	원격 마이크가 말하는 사람과 너무 멀리 떨어져 있을 수 있습니다.	원격 마이크를 스피커의 입에 더 가깝게 옮깁니다.
	원격 마이크가 옷으로 덮여 있거나 올바르게 배치되지 않았습니다.	- 필요한 경우 원격 마이크가 덮이지 않도록 합니다. - 원격 마이크를 스피커의 입 가까이에 놓습니다.
표시등은 흰색으로 두 번 깜박이지만 오디오가 보청기로 스트리밍되지 않습니다.	보청기는 스트리밍된 오디오를 수신할 준비가 되지 않았습니다.	보청기 전원을 켜다가 다시 켕니다.

의도된 사용

원격 마이크는 2.4GHz 무선 기도형 보청기에 대한 액세스러입니다. 이 기기는 오디오 소스에서 기도형 보청기까지의 사운드 무선 송신기로 사용됩니다. 시끄러운 환경에서 멀리서 말하는 사람이 사용할 때 보조 청취 장치로 작동합니다.

원격 마이크는 가장 엄격한 국제 전자기 호환성 표준을 준수하도록 설계되었습니다. 그러나 여전히 전력선 장애, 공항 금속 탐지기, 다른 의료 기기의 전자기장, 무선 신호 및 정전기 방전으로 인해 간섭을 경험할 수 있습니다.

원격 마이크는 비누물에 적신 젖은 천으로 세척할 수 있도록 설계되었습니다.

다른 의료 기기를 사용하거나 제세동기 또는 심박조율기와 같은 이식형 의료 기기를 착용하고 원격 마이크가 의료 기기에 간섭을 일으킬 수 있다는 우려가 있는 경우, 의사 또는 의료 기기 제조업체에 연락하여 장애 위험에 대한 정보를 문의하십시오. MRI 절차 중에 또는 고압 챔버에서 원격 마이크를 사용해서는 안 됩니다. 원격 마이크는 석탄 광산이나 일부 화학 공장과 같이 폭발 위험이 있는 환경에서의 작동 여부를 공식적으로 인증받지 않았습니다.

기내에서의 사용

비행 직원이 특별히 허용하지 않는 한, 항공기에서 원격 마이크를 사용해서는 안 됩니다.

해외에서의 사용

원격 마이크는 사용자의 국가 또는 지역에 특정하는 무선 주파수에서 작동하도록 승인되었으며, 사용자의 국가 또는 지역 외에서의 사용은 승인되지 않았을 수 있습니다.

해외여행 중에 장치를 작동하면 다른 전자 기기에 간섭을 주거나 다른 전자 기기가 원격 마이크에 간섭을 일으킬 수 있습니다.

원격 마이크는 -10°C(14°F) ~ 45°C(113°F)의 온도 범위와 10% ~ 95%의 상대 습도 범위 및 70kPa ~ 106kPa(해수면 아래 380m(1,200ft) ~ 3,000m(10,000ft)의 고도와 동일)의 고도 범위 내에서 작동, 보관 및 운송하도록 설계되었습니다.

충전 온도 범위는 0°C(32°F) ~ 40°C(104°F) 사이입니다.

임상적 이익

부속품 자체는 직접적인 임상적 이익을 제공하지 않습니다. 모 기기(무선 보청기)가 의도한 목적을 달성할 수 있도록 함으로써 간접적인 임상적 혜택을 제공합니다.

규정에 따라 다음과 같은 경고를 제공해야 합니다.

⚠ 경고: 원격 마이크의 성능이 저하될 수 있으므로 다른 전자 장비에 근접하여 원격 마이크를 사용하지 않도록 합니다. 이러한 사용이 필요한 경우 보청기와 다른 장비가 정상적으로 작동하는지 확인하십시오.

⚠ 경고: 원격 마이크 제조사에서 제공하지 않은 액세서리, 부품 또는 교체품을 사용하면 전자기 방출이 증가하고 전자기 내성이 감소하여 성능이 저하될 수 있습니다.

⚠ 경고: 휴대용 무선 주파수 통신 장비를 원격 마이크에서 30cm(12인치) 이상 가까이에서 사용하면 보청기 성능이 저하될 수 있습니다. 이 경우, 통신 장비로부터 멀리 떨어지십시오.

IEC 60529에 따라 원격 마이크는 먼지 또는 물 유입 방지용으로 공식적으로 인증(IP 등급)되지 않았지만 IP 5X 수준으로 테스트를 거쳤습니다. 즉, 원격 마이크가 먼지로부터 보호됩니다.

원격 마이크의 배터리는 교체할 수 없습니다. 배터리를 교체하지 마십시오. 원격 마이크에는 사용자가 수리할 수 있는 부품이 포함되어 있지 않습니다. 이를 열거나 개조하지 마십시오.

원격 마이크와 함께 사용되는 USB AC 어댑터는 국가 공인 테스트 실험실(북미)의 안전성 인증을 받거나 해당 국가 전기 안전 표준(다른 국가)을 충족해야 합니다.

원격 마이크를 이 설명서에 설명되어 있지 않은 장치에 연결하지 마십시오.

원격 마이크의 예상 서비스 수명은 3년입니다.

무선 기술 설명

원격 마이크는 2MHz 대역폭을 가진 GFSK의 전송 변조 유형에서 8dBm의 최대 유효 방사 전력으로 2.4-2.4835GHz 대역에서 작동합니다. 라디오의 수신기 부분은 대역폭이 2MHz입니다.

원격 마이크는 다음과 같은 방출 및 내성 테스트를 거쳤습니다.

- IEC 60601-1-2는 CISPR 11에 명시된 대로 그룹 1 클래스 B 기기에 대한 방출 요건을 방사 및 수행했습니다.
- IEC 60601-1-2의 표 2에 명시된 바와 같이 전원 입력 소스에 영향을 주는 고조파 왜곡 및 전압 변동.
- IEC 60601-1-2의 표 9에 명시된 바와 같이, 80MHz~2.7GHz 사이의 10V/m의 필드 수준에서 RF 방사 내성은 물론 통신 장치의 더 높은 필드 수준에서 방사됩니다.
- IEC 60601-1-2의 표 11에 명시된 바와 같이 30 A/m의 전계 수준에서의 전력 주파수 자기장 및 근접 자기장에 대한 내성.
- +/- 8 kV의 ESD 수준에 대한 내성 전도 방전 및 +/- 15 kV 공기 방전.
- 100Hz 반복 속도에서 +/- 2kV 수준의 전원 입력에서 전기적 고속 과도 현상에 대한 내성.
- +/- 1 kV 라인-라인의 전원 입력에서 서지 내성.
- IEC 60601-1-2의 표 6에 명시된 바와 같이 전원 입력의 RF 필드에 의해 유도된 전도 장애에 대한 내성.
- IEC 60601-1-2의 표 6에 명시된 바와 같이 전원 입력의 전압 강하 및 중단에 대한 내성.

유럽연합 이상사례 보고

Starkey 장치와 관련하여 발생한 모든 중대한 사고는 현지 Starkey 담당자 및 사용자가 거주하는 유럽연합 회원국의 관할 당국에 보고해야 합니다. 중대한 사고란, 사용자의 사망 또는 심각한 건강 상태 저하를 초래할 수 있거나 재발 시 이러한 결과로 이어질 수 있는 오작동, 장치의 특성 및/또는 성능의 저하, 또는 장치의 부적절한 사용 설명서/라벨로 정의됩니다.

FCC 정보

무선 통신

FCC ID: EOA-24RME

IC: 6903A-24RME(모델 960)

이 기기는 FCC 규정의 파트 15 및 ISED Canada 라이선스 면제 RSS 표준을 준수합니다. 작동에는 다음 두 가지 조건이 적용됩니다. (1) 해당 장치는 유해한 간섭을 일으키지 않으며, (2) 해당 장치는 원치 않는 장치 작동을 유발할 수 있는 간섭을 포함하여 수신된 모든 간섭을 수용해야 합니다.

참고: 본 장비의 무단 개조로 인한 일체의 라디오 또는 TV 간섭에 대해 제조사는 책임지지 않습니다. 이러한 개조 시 사용자의 장비 작동 권한이 무효가 될 수 있습니다.

이로써 Starkey Laboratories, Inc.는 원격 마이크가 Directive 2014/53/EU의 필수 요건 및 기타 관련 조항을 준수함을 선언합니다. 적합성 선언 사본은 다음 주소와 docs.starkeyhearingtechnologies.com 구할 수 있습니다.

이에 따라 Starkey Laboratories, Inc.는 원격 마이크가 개정된 영국 무선 장비 규정 SI 2017을 준수함을 선언합니다. 영국 적합성 선언 사본은 다음 주소와 docs.starkeyhearingtechnologies.com에서 입수할 수 있습니다.

규제 정보

서비스나 수리를 받으시려면 먼저 보청기 전문가에게 문의하십시오.
필요한 경우 보청기를 다음 주소로 발송할 수 있습니다.

 **Starkey Laboratories, Inc.**
6700 Washington Ave. South
Eden Prairie, MN 55344
www.starkey.com



Starkey Laboratories(독일) GmbH
Weg beim Jäger 218-222
22335 Hamburg
독일

영국 공인 업체:
Starkey UK
William F. Austin House
Pepper Rd, Hazel Grove
Stockport SK7 5BX, 영국
www.starkey.co.uk



전자 장비 폐기물은 현지 규정에 따라 취급해야 합니다.



사용자 매뉴얼 참조



습기 엄금

사용한 전자 기기 폐기 지침

Starkey Laboratories, Inc.는 현지 전자제품 재활용/폐기 절차를 통해 원격 마이크를 폐기할 것을 권장하며, EU는 이를 요구하고, 현지 지역사회 법률에서 요구할 수 있습니다.

아래 지침은 폐기/재활용 담당자의 참고를 위해 제공됩니다. 원격 마이크를 폐기할 때는 이 설명서를 함께 폐기해 주십시오.

폐기/재활용 담당자 전용

이 제품에는 리튬이온 폴리머 배터리가 포함되어 있습니다.

이 배터리를 분리하는 방법:

- 원격 마이크의 전원을 끕니다.
- 작은 스크류드라이버로 하우징 반쪽을 들어올립니다.
- 회로 기판에서 배터리 와이어를 절단하여 우발적 단락을 방지하십시오.
- 넓은 납작한 칼날을 사용하여 배터리를 하우징에서 멀리 떨어뜨립니다.

이러한 개조 시 사용자의 장비 작동 권한이 무효가 될 수 있습니다.

기호	기호 의미	해당 표준	기호 번호
	제조사	BS EN ISO 15223-1:2021	5.1.1
	유럽공동체 공인 대리점	BS EN ISO 15223-1:2021	5.1.2
	제조일자	BS EN ISO 15223-1:2021	5.1.3
	카탈로그 번호	BS EN ISO 15223-1:2021	5.1.6
	일련 번호	BS EN ISO 15223-1:2021	5.1.7
	의료 기기	BS EN ISO 15223-1:2021	5.7.7
	습기 엄금	BS EN ISO 15223-1:2021	5.3.4
	온도 한계	BS EN ISO 15223-1:2021	5.3.7
	습도 제한	BS EN ISO 15223-1:2021	5.3.8
	주의	BS EN ISO 15223-1:2021	5.4.4
	일반 경고 표시	EC 60601-1, 참조 번호 표 D.2, 안전 표시 2	ISO 7010-W001
	사용 설명서/책자 참조	EC 60601-1, 참조 번호 표 D.2, 안전 표시 10	ISO 7010-M002
	분리 수거	지침 201 2/19/EU (WEEE)	부록 IX
	클래스 II 장비	IEC 60417 참조 번호 표 D.1	기호 9(IEC 60417- 5172)
	Regulatory Compliance Mark (RCM)	AS/NZS 4417.1:2012	해당 없음
	Giteki 마크	일본 무선법	해당 없음
	직류	IEC 60601-1 참조 번호 표 D.1	IEC 60417-5031
	재활용 기호	유럽 의회 및 이사회 지침 94/62/EC	부록 I-VII

StarLink Edge 远程麦克风 用户手册



StarLink 및 Starkey는 Starkey Laboratories, Inc.의 상표입니다.

©2025 Starkey Laboratories, Inc. 모든 권리 보유. P00009895 1/25 BKLT3245-00-JP-KO-ZH-XX

특허: www.starkey.com/patents



本品适用于:

支持无线 LE (低功耗) 音频的助听器

恭喜您拥有了全新 StarLink Edge 远程麦克风!

言语更清晰，交流更容易。远程麦克风能够增强言语声效果，让你尽享对话的乐趣，同时更好地与周围的世界相连。

请参照这份操作指南开始使用吧。

目录

1. 了解远程麦克风

认识远程麦克风	43
远程麦克风的作用	44
设置远程麦克风	44
使用远程麦克风	46
佩戴远程麦克风	49
给远程麦克风充电	49

2. 故障排除指南 51

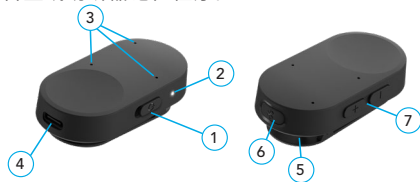
3. 其他指导

预期用途	53
FCC 信息	55
法规信息	56

认识远程麦克风

概况

- 电源开关**
打开/关闭远程麦克风。
- 指示灯**
指示远程麦克风当前的运行状态。
- 麦克风**
拾取说话者的声音，以便您可以听到。
- 电源插孔 (USB-C)**
用于连接电源适配器。
- 背夹**
将远程麦克风固定到说话者的衣服上。
- 配对按钮**
将远程麦克风与助听器配对。
- 音量控制/记忆按钮**
调节音量或助听器记忆程序。



远程麦克风的作用

远程麦克风旨在增强言语声效果，帮助您与他人对话交流。



您也可以将远程麦克风放在电视附近，以更好地收听电视音频。为了更好地观看电视节目，请使用电视伴侣。详情请咨询您的验配师。

与助听器配对

在使用桌面麦克风之前，需要与助听器配对。配对后，远程麦克风能够识别助听器，才可以协同工作。

设置远程麦克风

电源开关

使用电源开关**打开**或**关闭**远程麦克风：

- **开机：**将开关滑向 LED 指示灯。指示灯将亮起白灯 2 秒钟。
- **关机：**将开关滑离 LED 指示灯。LED 将亮起红灯 2 秒钟。开关旁边将呈橙色。



与助听器配对

在使用远程麦克风之前，需要与助听器配对。配对后，远程麦克风能够识别助听器，才可以协同工作。

第 1 步：打开远程麦克风

第 2 步：重启助听器。

- 如果是可充电型助听器，请将其放入充电盒中 3 秒钟，随后取出。如果是电池行型助听器，请打开并关闭电池仓门。
- 如果是选配了 CROS 的用户：
需将助听器和 CROS **关机**。接下来，仅将助听器**开机**。

第 3 步：将远程麦克风与助听器配对：

1. 确保助听器未连接到附近的蓝牙®设备：
 - **关闭手机蓝牙。**
 - **关闭已与助听器配对的无线附件。**
2. 将助听器放置在距远程麦克风 6 英寸 (15 厘米) 以内的位置。距离越近越好。

3. 按住配对按钮 2 秒钟，LED 指示灯将闪烁绿色。配对完成后，每个助听器上的 LED 指示灯将常亮绿灯 2 秒钟。*



完成！请翻到下一页开始使用远程麦克风。

使用远程麦克风

第 1 步：确保助听器已开机。

第 2 步：

- **打开远程麦克风：**助听器将开始自动传输音频流。
- 如果有电话呼叫等高优先级活动出现，**音频流传输将暂停。**

第 3 步：关闭远程麦克风：关闭远程麦克风后，音频流传输将停止。

第 4 步：调节音频流传输的音量。

执行以下操作之一：

- 按下远程麦克风侧面的音量控制按钮，增大或减小音量。
- 按下（或轻触）**助听器用户控制按钮**。*
- 在兼容的移动应用程序的附件界面中进行调节。

第 5 步：更改助听器记忆程序。

长按（2 秒）音量控制按钮，可在助听器已编程的记忆程序之间循环切换。

第 6 步：将远程麦克风用作遥控器。

当远程麦克风未进行音频传输时：

- 短按“+/-”可以更改助听器音量。
- 长按“+/-”可以切换助听器的记忆程序。

注意：远程麦克风电量不足时，助听器会发出提示音进行提醒。

*如果没有出现绿灯常亮 2 秒，请重复第 1 至 3 步。

*如想使用此功能控制远程麦克风，须由验配师事先进行设置。

指示灯

指示灯指示远程麦克风当前的运行状态：

指示灯状态	运行状态
红灯常亮 2 秒	已拔下充电线
白灯常亮 2 秒	已开机
白灯缓慢闪烁	已开机，但未进行音频传输
绿灯闪烁变为绿灯常亮	正在配对变为已配对
绿灯闪烁变为红灯常亮	配对失败
红灯常亮 2 秒	与助听器断开连接 30 分钟后，远程麦克风将进入睡眠模式（按下任意按钮即可唤醒）。
白色 LED 指示灯	按下按钮时
白灯快速闪烁两次	进行音频传输期间
快速闪烁红灯	电池电量低
提示音	助听器电池电量低（3 声提示音）
红灯常亮 2 秒	已关机（通过控制或在电池电量低的情况下关机）

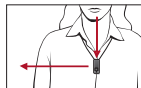
注意：无线工作范围通常可达 50 英尺（15 米）。这一距离可能会因环境因素（例如障碍物、干扰、人员位置）而缩短。远程麦克风可在更远距离下使用，但音频或连接质量可能会下降。

佩戴远程麦克风

讲者可将远程麦克风固定在衣服上。请将远程麦克风放置在距嘴部 8 英寸（20 厘米）以内的位置。

佩戴说明：

1. 捏住远程麦克风的背夹，将其打开。
2. 将背夹的开口滑到衣服上。
3. 松开背夹。
4. 确保远程麦克风已牢固地夹在衣服上。



给远程麦克风充电

如果电量不足，远程麦克风指示灯将快速闪烁红灯。如果您在进行音频传输，还会听到语音指示。如果电量完全耗尽，打开远程麦克风时，白色指示灯将不会亮起。

1. 将充电线的 USB-C 端插入远程麦克风上的 USB-C 插孔。
2. 将充电线的 USB 端连接到电源适配器。
3. 将电源适配器插入外部电源，例如壁式插座。
4. 通过远程麦克风上的指示灯检查充电状态。



- 充电时，LED 指示灯常亮白灯
- 充满电时，LED 指示灯熄灭
- 远程麦克风充满电大约需要 3 个小时
- 远程麦克风充一次电大约可以使用 10 个小时，具体取决于音量设置和噪声水平。

提醒：如果您在充电时进行音频流传输，远程麦克风的充电时间可能会延长。远程麦克风关机时充电更快。

故障排除指南

远程麦克风出现问题？试试按以下操作。如果问题依然没有解决，请联系您的验配师。

出现的问题	可能的原因	解决方案
一侧（或双侧）助听器从音频流传输状态中意外退出。	助听器可能处于无线有效范围的边缘。	将助听器靠近远程麦克风。
	助听器电量过低，无法再进行音频流传输。	为助听器换上新电池。 或 为助听器充电。
一侧（或双侧）助听器从音频流传输状态中意外退出。	与远程麦克风的无线连接断开。	重新启动音频流传输。将远程麦克风重启。
音频流传输的声音质量失真。	远程麦克风的电量不足。	给远程麦克风充电。参见第 9 页上的“给远程麦克风充电”。

出现的问题	可能的原因	解决方案
在嘈杂环境中很难清楚讲者的声音。	远程麦克风可能距离讲者太远。	将远程麦克风靠近讲者嘴部。
	远程麦克风可能被衣服遮盖或放置位置不佳。	1. 请勿遮挡远程麦克风。 2. 将远程麦克风靠近讲者嘴部。
白灯闪烁两次，但音频未传输到助听器。	助听器尚未准备好接收音频传输	重启助听器。

预期用途

此款远程麦克风为 2.4 GHz 无线气导助听器的附件。设计目的是作为一个无线传送器，将声音从各种不同的电子音频源直接传送到助听器。在嘈杂环境中由距离较远的演讲者佩戴时，将起到辅助聆听装置的作用。

远程麦克风的设计严格遵守国际电磁兼容性标准。但是，您仍然可能会受到来自电源线、机场金属探测器、其他医疗设备产生的电磁场、无线电信号以及静电放电造成的干扰。

远程麦克风可以用湿布蘸肥皂水进行清洁。

如果您使用其他医疗设备或佩戴植入式医疗设备（例如除颤器或起搏器），并且担心远程麦克风可能会对您的医疗设备造成干扰，请联系您的医生或医疗设备制造商，了解干扰风险的相关信息。在 MRI（磁共振成像）检查期间或高压氧舱内不应使用远程麦克风。远程麦克风未获得正式认证，无法在爆炸性环境（例如煤炭矿场或某些化学工厂）中安全运行。

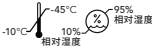
在飞机上使用

除非机组人员明确允许，否则不应在飞机上使用远程麦克风。

国际使用

远程麦克风获准在您所在国家或地区特定的无线电频率下操作，并且可能未获准在您所在国家或地区以外使用。

请注意，在国际旅行期间操作可能会对其他电子设备造成干扰，或者其他电子设备可能会对您的远程麦克风造成干扰。



远程麦克风经设计可在以下范围内运行、存储和运输：-10°C (14°F) 至 45°C (113°F) 的温度范围；10% 至 95% 的相对湿度范围；以及 70 kPa 至 106 kPa 的海拔高度范围（相当于海平面以下 1,200 英尺 (380 米) 至 10,000 英尺 (3,000 米) 的海拔高度）。

充电温度范围：0°C (32°F) 至 40°C (104°F)。

临床益处

该附近本身并无直接的临床益处。但其可通过确保主设备（无线助听器）实现它们的预期用途而间接实现临床益处。

根据法规要求，必须提供以下警告：

警告：应避免在其他电子设备旁边直接使用远程麦克风，否则可能会导致性能不良。如果有必要使用，请注意助听器和其他设备是否正常工作。

警告：使用非远程麦克风制造商提供的附件、组件或替换部件可能会导致电磁辐射增加和电磁抗扰性降低，并可能会导致性能降低。

警告：如果便携式射频通信设备与无线麦克风之间的距离小于 30 厘米 (12 英寸)，则可能会导致助听器性能下降。如果发生这种情况，请助听器远离通信设备。

虽然远程麦克风未通过正式的防尘或防水认证 (IP 等级)，但根据 IEC 60529 标准，其已通过 IP 5X 等级测试，测试合格。这意味着它免受灰尘影响。

远程麦克风中的电池不可更换。请勿自行尝试更换电池。远程麦克风无任何用户可维修的部件。请勿打开或改装远程麦克风。

用于远程麦克风的 USB 交流电源适配器必须通过国家公认测试实验室的安全认证 (如果在北美使用)，或者必须符合适用的国家电气安全标准 (如果在其他国家/地区使用)。

请勿将远程麦克风连接至本手册中未提及的任何设备。

远程麦克风的预期使用寿命为 3 年。

无线技术说明

远程麦克风的工作频段为 2.4-2.4835 GHz，最大有效辐射功率为 8 dBm，传输调制类型为 GFSK，带宽为 2 MHz。无线电接收部分的带宽为 2 MHz。

远程麦克风已通过以下辐射和抗扰度测试，测试合格：

- 对 1 组 B 类设备的 IEC 60601-1-2 辐射和传导发射要求，详见 CISPR 11 所述。
- 影响电源输入的谐波失真和电压波动，详见 IEC 60601-1-2 表 2 所示。
- 80 MHz 和 2.7 GHz 之间 10 V/m 场强以及通信设备更高场强下的射频辐射抗扰度，详见 IEC 60601-1-2 表 9 所示。
- 对场强为 30 A/m 的工频磁场和 近距离磁场的抗扰度，详见 IEC 60601-1-2 表 11 所示。
- 对 +/- 8 kV 接触放电和 +/- 15 kV 空气放电的 ESD 等级的抗扰度。
- 对电源输入端 +/- 2 kV、100 Hz 重复频率的电快速瞬变的抗扰度。
- 对电源输入端 +/- 1 kV 线间浪涌的抗扰度。
- 对电源输入端由射频场引起的传导干扰的抗扰度，详见 IEC 60601-1-2 表 6 所示。
- 对电源输入端电压骤降和中断的抗扰度，详见 IEC 60601-1-2 表 6 所示。

欧盟不良事件报告

任何与您的设备相关的严重事件都应报告给您当地的斯达克代表和您所在国家/地区的主管当局。严重事件是指设备发生的任何故障、性能下降或用户手册/标签缺陷，这些可能导致用户死亡或健康状况严重受损，或者在问题再次发生时产生同样的严重后果。

FCC 信息

无线声明

FCC (美国联邦通信委员会) ID: EOA-24RME

IC (加拿大工业部) : 6903A-24RME (960 型)

本设备符合 FCC 规则的第 15 部分以及加拿大 ISED 免许可证 RSS 标准。操作受以下两个条件约束：(1) 本设备可能不会造成有害干扰，且 (2) 本设备必须接受收到的任何干扰，包括可能会导致设备意外运行的干扰。

注意：制造商对因未经授权修改本设备而造成的任何无线电或电视干扰概不负责。此类修改可能会导致用户操作设备的权限失效。

Starkey Laboratories, Inc. 特此声明，远程麦克风符合指令 2014/53/EU 的基本要求和相关规定。符合性声明副本可从以下地址和网址获取：docs.starkeyhearingtechnologies.com。

Starkey Laboratories, Inc. 特此声明，远程麦克风符合经修订的英国《无线电设备法规》SI 2017。英国符合性声明副本可从以下地址和网址获取：docs.starkeyhearingtechnologies.com。

法规信息

如需维修或修理，请先联系验配师。如有必要，您可以将助听器寄往：



Starkey Laboratories, Inc.
6700 Washington Ave. South
Eden Prairie, MN 55344 USA
www.starkey.com



Starkey Laboratories (Germany) GmbH
Weg beim Jäger 218-222
22335 Hamburg
Germany

英国获授权人：
Starkey UK
William F. Austin House
Pepper Rd, Hazel Grove
Stockport SK7 5BX, UK
www.starkey.co.uk



电子设备产生的废物必须按照当地法规进行处理



查阅用户手册



保持干燥

旧电子器件处置说明

Starkey Laboratories, Inc. 建议且欧盟要求，并且您当地的社区法律也可能要求通过您当地的电子产品回收/处置流程处置远程麦克风。

以下说明供处置/回收人员参考。处置远程麦克风时，请带上本手册。

处置/回收人员须知

本产品包含锂离子聚合物电池。

如要取出此电池：

- 关闭远程麦克风。
- 用小螺丝刀撬开两半机壳。
- 从电路板上剪断电池线，以防止意外短路。
- 用宽平的刀片将电池从机壳中撬出。

此类修改可能会使用户操作设备的权限失效。



StarLink 和 Starkey 是 Starkey Laboratories, Inc. 的商标。

©2025 Starkey Laboratories, Inc. 保留所有权利。
P00009895 1/25 BKLT3245-00-JP-KO-ZH-XX

专利: www.starkey.com/patents



P00009895